

## コラム：明治期の千歳川における写真

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産研究・教育機構 公開日: 2024-07-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 野川, 秀樹 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2009640">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2009640</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



## コラム

## 明治期の千歳川における写真

の が わ ひ で き  
野川 秀樹（北海道区水産研究所）

北海道における官民一体の本格的なさけます人工孵化放流は、石狩川水系千歳川上流に官営の千歳中央孵化場が創立されたことに始まります。それは明治21（1888）年のことで、平成30（2018）年は創立130周年に当たります。そのようなことから、明治期の千歳川におけるさけます人工孵化放流に関連する写真を表紙などに掲載しました（以下、表紙の写真を①、裏表紙の写真を②、本文中の写真を③と表示）。

①と②は市立函館博物館が所蔵している写真で、明治24年に北海道庁が函館に開館した「函館水産陳列場」に陳列された写真です（北水協会 2009）。写真は台紙に貼られ、台紙にはタイトルと説明文、そして、写真の提供者である「北海道庁水産課」の名前が記述されています。タイトルと説明文ですが、①には「孵化室」、「孵化室ニアリ。正面ニアルモノヲ甲号トシ、左側ニアルモノヲ乙号トス。卵ヲ茲ニ移シテ孵化セシム」と、②には「親魚捕獲ノ装置」、「千歳川ヲ横断シテ杭ヲ建テ、網ヲ下シ溯上ノ鮭魚ヲ捕獲ス」と書かれています。

①の甲号孵化室は明治21年に建築された最初の孵化室で、乙号孵化室はその翌年に建てられています（北水協会 1904）。甲号孵化室の写真はこれまで目にしたことがなく、初代場長の藤村信吉が残したスケッチ（北水協会 1889）が、その建物の姿を知り得る唯一のものでした。それだけに、この写真の存在を冊子（北水協会 2009）で知ったときは大変驚きました。写真とスケッチの比較では、建物右側の小さな階段の掛かっている事務室下の1階部分のところに多少の違いは見られますが、全体的に大きな違いは見られません。②は網ウライ（サケ親魚の遡上を遮断するため、川中に杭を打ちその杭に網を括りつけて河川を横断して設置した装置）で、サケを捕獲しているところを写したものです。写真の捕獲方法は、明治21年から明治24年の間に行われた「上りウライ」と称される方法です（北海道鮭鱒保護協会 1938）。構内橋の上流に杭を打つなどして、大掛かりな装置で捕獲が行われていたことが分かります。雪の日にウライの修理でしょうか、カケヤを担いで佇む人物が写っています。

両写真は、恐らく展示用として降雪の同じ日に撮影されたものと推察されます。「上りウライ」で捕獲が行われた年、乙号孵化室の建築年及び当該写真が陳列物として北海道庁から函館水産陳列場に持ち込まれたのが明治24年であること（市立函館博物館 1979）を勘案すると、撮影されたのは千歳中央孵化場創立後間もない明治22～23年頃ではないかと思われまます。

③と④は北海道大学付属図書館北方資料室が所蔵している写真です。北方資料室のデータベースでの資料名及び撮影年は、③が「北海道水産試験場千歳分場」、「明治末(?)」、④が「千歳孵化場内部の景」、「明治末(?)」となっています。明治期のいつ頃の写真なのか、大凡の撮影時期を推定してみました。③の写真ですが、建物の様相が千歳鮭鱒人工孵化事業報告（北海道庁 1900）に綴られている全景写真に酷似していること、北海道水産試験場の所属となって「千歳分場」と称したのは明治34年からであることなどから、明治30年代中頃に撮影された写真ではないかと思われまます。写真には明治31年に整備された庁舎や養魚池が写っています。④は甲号孵化室の内部を撮影したものと考えられます。建築当初、孵化槽はアトキンス式2間槽でしたが、明治28年に写真に見られるようにアトキンス式1間槽の1列4段に改修されています（半田 1959）。このことから、明治28年から明治末にかけて撮影された写真と思われまます。写真には、受精卵の管理に使用するアトキンス式孵化盆など当時の道具類も写っています。

今回紹介しました写真は、いずれも明治期の千歳川における人工孵化放流に関して多くのことを教えてくれる貴重で興味深い写真です。

最後に、写真の掲載許可や画像の提供などにつきまして種々ご協力いただきました市立函館博物館及び北海道大学附属図書館北方資料室に記して感謝申し上げます。また、古い文献の閲覧などにご協力いただきました北水協会の村井常務に厚くお礼申し上げます。

## 引用文献

- 半田芳男. 1959. 七十年前創立当時の千歳孵化場 —その孵化能力に関して—. 鮭鱒彙報, 57: 10-13.  
 北海道鮭鱒保護協会. 1938. 沿革史. 鮭鱒彙報 (千歳孵化場50周年記念号), 38: 18-30.  
 北海道庁水産課. 1900. 千歳鮭鱒人工孵化事業報告, 北海道庁水産課, 札幌. 千歳鮭鱒人工孵化場之景.  
 北水協会. 1889. 千歳孵化場地画図. 北水協会報告, 42: 口絵.  
 北水協会. 1904. 北海道水産試験場千歳分場 (一). 北海道水産雑誌, 4(2): 19-22.  
 北水協会. 2009. 千歳孵化場額. 北水協会125年誌, 財団法人北水協会, 札幌. p. 141.  
 市立函館博物館. 1979. 函館博物館100年のあゆみ. 市立函館博物館, 函館. 46 pp.

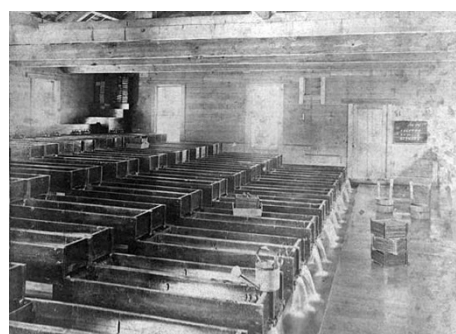


図. 甲号孵化室の内部. このコラムの④.